

## 研究班活動による調査

# 全国小・中学校弱視特別支援学級及び 弱視通級指導教室実態調査

(平成24年度)

## 研究成果報告書

平成25年3月



独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所

## はじめに

国立特別支援教育総合研究所では、調査研究として、全国の小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の実態調査を継続的に実施してきました。

本調査報告書は、平成 24 年度における視覚障害教育研究班の活動の一環として実施した「全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室実態調査」についてまとめたものです。

本調査は、5年に一度の頻度で実施している悉皆調査で、今回の調査は、平成 19 年度に引き続き実施したものです。

前回実施した平成 19 年度は、「特別支援教育元年」といわれ、我が国の障害のある子どもの教育にとって歴史的な年でもありました。その後、平成 20 年 3 月には小学校及び中学校学習指導要領、21 年 3 月には特別支援学校学習指導要領が告示され、すでに小学校、中学校で、特別支援学校では対応学部で全面实施となっています。

また、障害のある子どもが障害のない子どもと共に教育を受けるという障害者権利条約のインクルーシブ教育システム構築の理念を踏まえた検討が、中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」にてなされ、平成 24 年 7 月には、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」（報告）が出されました。

このように、特別支援教育の進展とともに、この 5 年間には弱視特別支援学級や弱視通級指導教室を取り巻く環境も様々に変化してきているものと考えます。

今回の調査では、従来から実施してきた在籍状況等の基本調査に加え、授業における ICT の活用状況や視覚特別支援学校との連携状況等についても併せて調査しました。

本調査報告書が、全国の視覚特別支援学校や弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室間の教育情報等の共有資料として、また、通常学級に在籍する弱視児童生徒の学習指導資料として活用されることを願っています。

最後に、今回の調査におきましては、多岐にわたる調査内容にもかかわらず、80%を超える弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室から回答を得ることができました。本調査にご協力いただいた諸先生方に深く感謝いたします。

研究代表者 教育研修・事業部 総括研究員 澤田 真弓

# 目 次

はじめに

|  |    |
|--|----|
| <b>第 1 章 研究の概要</b> .....                 | 1  |
| 1. 研究の趣旨及び目的                             |    |
| 2. 研究の方法                                 |    |
| 3. 研究の組織                                 |    |
| <b>第 2 章 弱視特別支援学級等設置校調査の結果及び考察</b> ..... | 5  |
| 1. 弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の設置状況               |    |
| 2. 設置状況調査から見えてくるもの                       |    |
| <b>第 3 章 弱視特別支援学級等在籍状況調査の結果と考察</b> ..... | 13 |
| 1. 調査により回収された弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室在籍児童生徒数   |    |
| 2. 学年の分布                                 |    |
| 3. 弱視特別支援学級等在籍児童生徒の性別                    |    |
| 4. 視力の分布                                 |    |
| 5. 最大視認力（最小可読指標）の分布                      |    |
| 6. 使用文字の状況                               |    |
| 7. 視覚補助具の使用状況                            |    |
| 8. 教科書の使用状況                              |    |
| 9. 弱視特別支援学級における交流及び共同学習を実施している割合         |    |
| 10. 弱視特別支援学級における交流及び共同学習を実施している教科・領域     |    |
| 11. 弱視通級指導教室における週あたりの指導回数                |    |
| 12. 弱視通級指導教室における週あたりの指導時数                |    |
| 13. 弱視通級指導教室における指導内容                     |    |
| 14. 弱視通級指導教室における指導形態                     |    |
| 15. 教科別普通文字教科書の使用状況                      |    |
| <b>第 4 章 指導担当者に関する調査の結果及び考察</b> .....    | 29 |
| 1. 教職経験年数と視覚障害教育経験年数                     |    |
| 2. 担当校務分掌                                |    |
| 3. 授業における ICT の活用状況について                  |    |
| 4. 盲学校との連携について                           |    |

1. 弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の設置状況について
2. 担当者の意識改革とセンター的機能を活かした支援の充実について
3. 普通文字教科書の使用状況と今後の拡大教科書の発行について
4. 手持ち型視覚補助具及び携帯端末の活用について

**【資料1】**

平成24年度全国小・中学校弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室設置校一覧

**【資料2】**

○ 調査

平成24年度弱視特別支援学級及び弱視通級指導教室の在籍状況調査

<弱視特別支援学級用>

- ・ 調査票の記入について
- ・ 調査票 I

小学校弱視特別支援学級用

中学校弱視特別支援学級用

<弱視通級指導教室用>

- ・ 調査票の記入について
- ・ 調査票 I

小学校弱視通級指導教室用

中学校弱視通級指導教室用

<弱視特別支援学級等担当者及び指導状況等に関する調査>

- ・ 調査票 II

執筆者一覧